

令和4年度 栃木県地域公共交通活性化協議会（栃木県） （地域公共交通計画策定事業）

公共交通の概況・地域の特徴

- ・本県では5社が鉄道を運行しており、8社が乗合バスを運行している。そのほか、15の市町がコミュニティバスを、22の市町がデマンド交通を運行している。
- ・高齢化の進行により、運転免許返納者数が増加傾向（H22：1,260人→R3：7,245人）にあるなど、高齢者をはじめ地域住民の移動手段の確保が必要となっている。
- ・民間路線の統廃合等が進む中、それを市町のコミュニティバスやデマンド交通等が補完してきたことにより、公共交通の人口カバー率は94.3%（R2）まで上昇し、面的には公共交通がおおむねカバーしている。

地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

- ・生活交通（民間バス路線、市町村生活交通）への補助額は、国・県・市町の協調補助が18.9億円、市町の単独負担が11.4億円となっている。公費負担額の合計は30.3億円であり、過去10年間で約17億円増加している。
- ・人口減少に伴い、公共交通の収支悪化、運転手不足等が深刻化し、とりわけ過疎市町では、収支改善はおろか、公共交通サービスの存続自体の危機にある。
- ・県内各地域の移動ニーズや輸送資源等に応じて、限られた予算や運転手を有効に活用しながら、持続可能な公共交通サービスの提供の確保が必要であることから、これらの取り組みを具体的に検討し実行し地域の移動手段を確保するために、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする地域公共交通計画を作成する。

アピールポイント

- ・地域の移動手段の一つとしての活用可能性を検討するため、レンタサイクル、シェアサイクルの設置箇所や台数、高校・大学のスクールバスの運行の有無やバスの保有状況、運行エリア等の実態を調査した。
- ・潜在的需要や公共交通の「利用状況・満足度・改善点」などを確認し、公共交通の利用促進や利便性向上のための検討に活用するため、公共交通の主たる利用者である高校生（県内全ての高校の2年生）に対しアンケート調査を実施した。
- ・県内全域を対象とした地域公共交通政策の推進にあたり、県の役割の明確化や公共交通の維持・充実に向けた検討を行うため、地域公共交通を支える交通事業者及び地域公共交通の一端を担う市町に対し、アンケート調査を実施し、取組や課題を把握した。
- ・サービス水準と利用実態の乖離等を確認し、公共交通NWの形成が十分かどうかの確認等に活用するため、ICカードデータを用いてバスの利用状況を可視化した。
- ・地域の人口が減少している中、地域外からの重要な収益源となる観光・ビジネス面における公共交通の利用促進に向けての検討に活用するため、RESASを活用した休日の人口流動調査やWEBアンケートを実施した。
- ・県内公共交通の案内表示の統一化による、公共交通の利便性向上の検討に活用するため、地域ごとのバス案内表示の実態を把握した。

別紙2



一部山村
指定

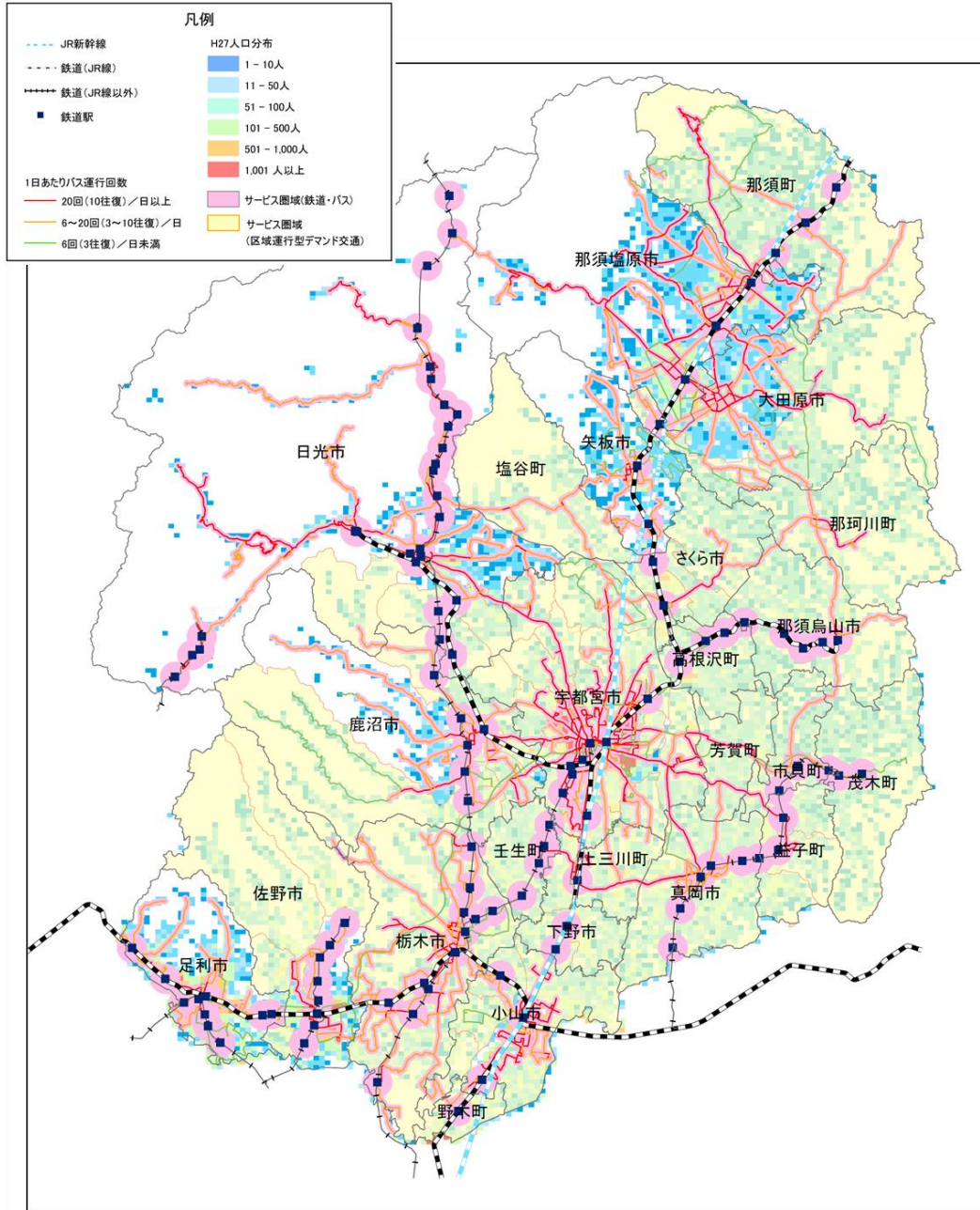
面積	6,408 km ²
人口（R4.4.1時点）	1,908,380 人
15歳未満	216,405 人
65歳以上	562,998 人
高齢化率	30.1 %

協議会開催状況

令和4年度の開催状況（予定含む）

- ・第1回（令和4年4月19日）※書面事業計画、収支予算について 等
- ・第2回（令和4年7月27日）
本県の現状、基礎調査の実施内容、地域部会の設置について 等
- ・第3回（令和4年12月13日）
地域部会の開催状況、基礎調査の実施状況について 等
- ・第4回（令和5年1月13日）※書面事業評価について 等
- ・第5回（令和5年3月）※予定
基礎調査の実施結果について 等

栃木県の鉄道・バスネットワークの人口カバー状況(令和2年度時点)



公共交通サービスの人口カバー状況 (県全域)

	全系統	運行回数6回以上	運行回数20回以上
総人口	1,974,255		
鉄道・バスサービス圏域人口	1,861,777	1,822,912	1,724,098
総人口に対する割合	R2 (H20) 94.3% (74.8%)	92.3% (71.0%)	87.3% (63.4%)
デマンド区域運行を除く			
鉄道・バスサービス圏域人口	1,476,026	1,437,161	1,219,601
総人口に対する割合	R2 (H20) 74.8% (74.3%)	72.8% (70.4%)	61.8% (62.8%)
市町バス・デマンド区域運行を除く			
鉄道・バスサービス圏域人口	1,213,062	1,192,293	1,115,733
総人口に対する割合	R2 (H20) 61.4% (60.4%)	60.4% (56.5%)	56.5%
用途地域内人口	1,127,900		
鉄道・バスサービス圏域人口	1,105,669	1,085,387	1,032,704
総人口に対する割合	R2 (H20) 98.0% (88.5%)	96.2% (86.9%)	91.6% (81.9%)

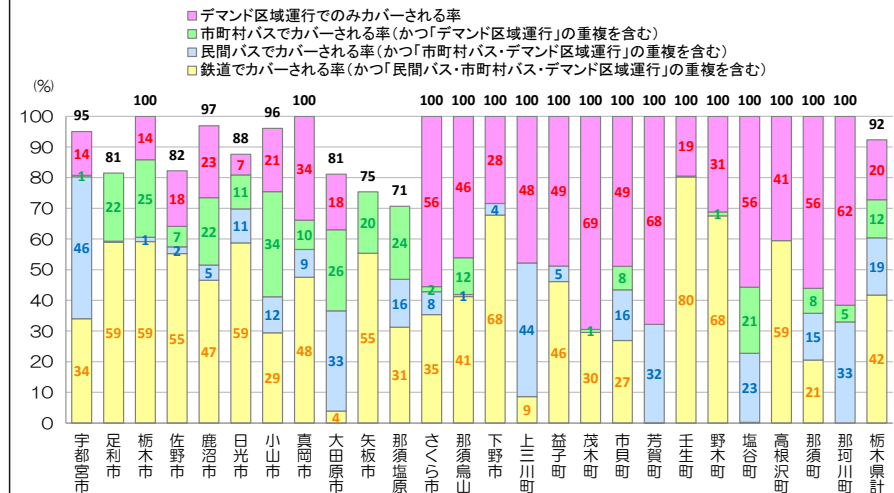
※鉄道駅・バス停のサービス圏域

・鉄道については、第二回宇都宮都市圏パーソントリップ調査等における鉄道駅までの平均アクセス時間が5~15分(徒歩・自転車)となっていること等を考慮し、鉄道駅圏域は半径1.5kmに設定した。

・バスについては、道路の移動円滑化ガイドライン等で歩行者が気軽に歩ける距離が200~400mとされていること等を考慮し、バス路線から半径300m圏域として設定した。

※用途地域内人口は、H27人口メッシュ(500m)を用い、用途地域内に重心が含まれるメッシュ人口の合計。また、公共交通サービスの人口カバー率が100%の市町村の用途地域内人口は、「人口メッシュから算出した用途地域内人口の総数」と「都市計画基礎調査の用途地域内人口」からの差の係数を「都市計画基礎調査の用途地域内人口」に乘じて算出。

公共交通サービスの人口カバー状況(市町別)



※一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書(R2年度)、令和2年度市町村バス運行実績(市町村照会)をもとに作成